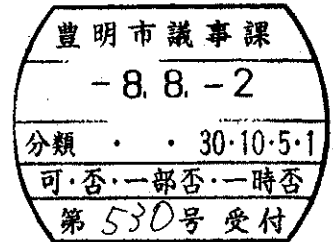


豊明市議会議長 殿



研修会参加報告書

議員名 こんどう のぶお

令和8年度豊明市議会政務活動費にて下記の研修に参加しましたので報告します。

日 付	研修先	研修項目及び成果等
令和8年7月25日	リファレンス名古屋栄貸会議室ナディアパーク	決算審査と財政の基本 別紙添付あり

(注) 別紙添付も可能とします。

(注) 本報告書は5年間公開します。

(学習した事)

今回の研修では、地方議会や議員の役割、自治体財政の基本的な考え方について体系的に学ぶことができました。特に印象に残ったのは、「議員の仕事は住民の福祉の増進を図ること」であり、その根拠が地方自治法第1条の2にあるという点である。「向上」ではなく「増進」という法令上の表現には意味があり、議員は住民の利益を着実に高めることを目的として活動しなければならないことを改めて認識しました。

また、「議員は住民と行政との橋渡し役」という一般的なイメージだけではなく、日本の二代表制では議会が政策を決定し、執行機関はその決定を実施する役割を担うという説明は非常に分かりやすく、議会の責任と権限の大きさを再確認する機会となった。議員には要望を伝えるだけでなく、住民全体の利益を踏まえて政策を判断する役割があることを意識して活動する必要があると感じました。

財政については、個別の予算や決算を見る前に、地方財政制度や財政運営のルールを理解することの重要性を学びました。赤字を出さないこと、予算の範囲内で執行すること、財政指標は目的ではなく住民福祉を実現するための手段であるという考え方は、財政を考える上で基本となる視点であると感じました。また、一般財源と特定財源の違いを理解することで、自治体の裁量がどこにあり、予算編成で何が重要になるのかがよく理解できました。

さらに、地方交付税制度が地方財政の根幹を支える仕組みであり、自治体の行政サービスを財政面から保障していることについても理解が深まりました。財政を判断する際には、単年度の収支だけではなく、制度全体を踏まえて分析することが重要であると感じました。

決算審査については、監査委員の決算審査意見書が課題や改善点を把握するための貴重な資料であり、一般質問や政策提案にも活用できるという指摘は非常に参考になりました。また、「決算カード」「類似団体比較カード」「財政状況資料集」の3点を活用して自治体財政を多角的に分析することの重要性も理解できました。

今回の研修を通じて、議員には単に予算や決算の数字を見るだけでなく、制度の仕組みを理解した上で、住民福祉の増進という目的に照らして財政運営を検証し、政策提言につなげていく姿勢が求められることを学びました。今後は決算審査意見書や各種財政資料を積極的に活用し、財政状況を客観的に分析するとともに、9月の決算審査にのぞみ、また市民にも分かりやすく説明できる議員としての報告にも活かしていきたいです。